

定例記者会見 令和7年1月10日(金) 11時～	
場 所 庁議室	
事 務 担 当 課	
所 属	職・氏 名
都市計画部交通政策課 (電話059-229-3180)	交通政策課長 荒木 康

令和7年2月16日(日)
津なぎさまち開港20周年
記念シンポジウムを実施!

このことについて、その内容は、別添資料のとおりです。

令和7年2月16日(日)



津なぎさまち開港20周年 記念シンポジウムを実施！



令和7年1月10日

津なぎさまちの経緯

年月	内容
平成15年9月	海岸整備事業と併せた港湾整備事業の起工式
平成16年8月	海上アクセス拠点の名称が公募により「津なぎさまち」と決定
平成17年2月	津なぎさまち開港。中部国際空港の開港とともに、高速船の第1便が就航 民間商業施設ベイシスカがオープン
平成19年8月	高速船の利用者数が延べ100万人を突破
平成20年8月	津なぎさまちが国土交通省中部地方整備局から「みなとオアシス」に認定
平成23年2月	高速船の利用者が延べ200万人を突破
平成26年10月	高速船の利用者が延べ300万人を突破
平成30年6月	高速船の利用者が延べ400万人を突破
令和2年2月	新型コロナウイルス感染症の影響により高速船の利用者数が激減 (令和2年度は延べ25,217人まで減少)
令和5年5月	新型コロナウイルス感染症の5類移行により高速船の便数を増便 (令和5年度は延べ161,741人まで回復)
令和6年12月	月末時点で高速船の利用者数は延べ495万2,936人



県内の海上アクセス事業の経過

四日市

H18.4
就航

H20.10
廃止

津

H17.2
就航

H21.9
松阪航路引継ぎ

H27.2
開港10周年

R2~R5
コロナ禍

R7.2
開港20周年

津航路が**県内唯一**の
海上アクセス航路に

松阪

H18.12
就航

H28.12
廃止

鳥羽

H17.2
就航

H19.3
廃止

※伊勢湾フェリーの
鳥羽港・常滑港ルート

開港20周年記念シンポジウムの概要

趣旨

平成17年2月17日の津なぎさまち開港から20周年の節目を迎えるにあたり、これまでの歩みを振り返り、三重県と中部国際空港を結ぶ唯一の海の玄関口である津なぎさまちの重要性を改めて認識し、津なぎさまちの認知度の向上や活性化、海上アクセスの利用促進につなげるとともに、津なぎさまちのイメージアップと賑わいの創出を図るため、開港20周年記念シンポジウムを開催。

日時

令和7年2月16日(日) 13時～15時25分(12時30分～受付)

場所

津なぎさまち ベイシスカ 2階 会議室

内容

- ①シンポジウムの開催
- ②津中央ライオンズクラブから津なぎさまちへの記念品受贈式
(会場 津なぎさまち緑地前)

シンポジウム

内 容

1 テーマトーク(13:10~14:00)

■ テーマ1 開港20周年の歩みと持続可能な港づくりについて

津なぎさまちイメージアップ事業実行委員会会長 朴 恵淑(三重大学 客員教授)

■ テーマ2 中部国際空港の成長と三重県の観光等への効果について

中部国際空港株式会社 執行役員 新屋 修一

2 トークセッション(14:10~15:00)

■ 「津なぎさまちのさらなる魅力向上に向けて」

国土交通省 中部運輸局長 中村 広樹

三重県 地域連携・交通部長 長崎 禎和

名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科教授 松本 幸正

津エアポートライン株式会社 代表取締役社長 小嶋 光信

津市長 前葉 泰幸 (コーディネーター)

定 員

60名(要申込・参加費無料)

シンポジウムの参加申込

受付期間

令和7年1月14日(火)
～令和7年2月7日(金)

申込方法

津市ホームページまたは、市本庁舎・各総合支所で配布するチラシ表面の2次元コードや裏面の申込書でお申し込みください(郵送・期限内必着)

津なぎさまち開港20周年 記念シンポジウム開催

2/16(日)
13:00～15:00
【開場 12:30～】
津なぎさまち
ベイシスカ2階
全館室
参加費無料

テーマトーク 13:10～14:00

「開港20周年の歩みと持続可能な港づくりについて」

朴 恵淑 氏
(津なぎさまちイメージアップ事業実行委員会 会長)

「中部国際空港の成長と三重県の観光等への効果について」

新屋 修一 氏
(中部国際空港株式会社 執行役員)

トークセッション 14:10～15:00

「津なぎさまちのさらなる魅力向上に向けて」

中村 広樹 氏(国土交通省 中部運輸局長)
長崎 禎和 氏(三重県 地域連携・交通部長)
松本 幸正 氏(名城大学 理工学部社会基盤
デザイン工学科教授)

小嶋 光信 氏(津エアポートライン株式会社 代表取締役社長)
前葉 泰幸 氏(津市長)

ご来場いただいた方には
津なぎさまち開港20周年
記念品を贈呈



こちらから
お申し込みください



津中央ライオンズクラブからの記念品受贈式

時 間

15時10分～(シンポジウム終了後)

会 場

津なぎさまち緑地前

趣 旨

令和7年7月に津中央ライオンズクラブが50周年を迎えることから、開港20周年にあわせ、津なぎさまちへ記念品を寄贈。津なぎさまちから、津の海の景観を眺め、市民が憩いの場として楽しむことができるものとして、双眼観光用望遠鏡を設置。

寄贈品

双眼観光用望遠鏡 2基

出席者

津中央ライオンズクラブ会長 荒川 博
津市長 前葉 泰幸
シンポジウム参加者

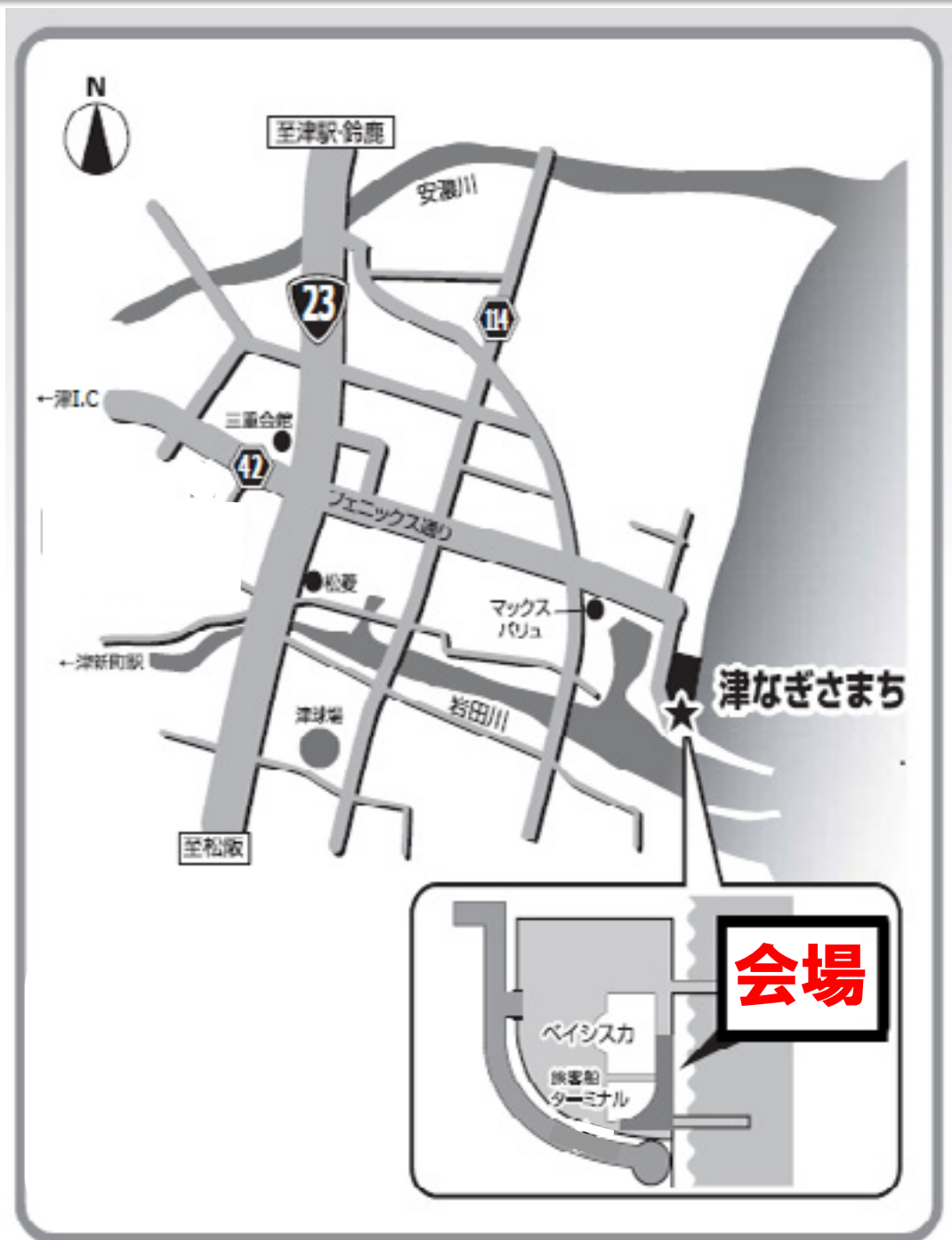
双眼観光用望遠鏡の設置場所



双眼観光用
望遠鏡



会場案内図



◆津なぎさまちに来場者用駐車場がありますのでお車または公共交通機関にてお越しください。

◆お車でお越しの際は、申込住所に送付する入場整理券がないと駐車できませんので、必ずご持参いただきますようお願いいたします。

※当日は混雑する可能性がありますので早めにお越しください。

問い合わせ

津なぎさまちイメージアップ事業実行委員会

(事務局:津市都市計画部交通政策課内)

〒514-8611 津市西丸之内23番1号

TEL :059-229-3180 FAX :059-229-3336

